

臨時・非常勤教職員の採用化要請署名手交

7月9日、各分会でとりくんだ「臨時・非常勤教職員の採用化及び処遇改善を求める署名」2,901筆を県教委に手交しました。各分会の協力により昨年に比べ多くの署名が集まり、吉田青年部長から現場でがんばっている臨採者の状況を交えながら、臨採経験がいかされる試験内容や安定した採用を求めました。今年度は受験年齢制限が撤廃になったほか、新型コロナウイルスの影響により、実技試験が二次試験に変更になっています。全国的に教員採用試験の倍率は減少していますが、昨年度、岩手県の県立学校の最終的な倍率は一昨年より増加しています。高教組は引き続き全教科での採用や臨時・非常勤教職員の採用化や処遇改善を求めとりくんでいきます。

〈岩手県公立学校教員採用候補者選考試験の志願状況〉

高 校	国語	35 (-5)
	倫理	
	政経	
	日本史	16 (-2)
	世界史	10 (+3)
	地理	10 (+3)
	数学	46 (-4)
	物理	12 (-1)
	化学	19 (+2)
	生物	11 (-2)
	地学	
	音楽	9 (-6)
	美術	5 (-2)
	書道	5 (-2)
	情報	5 (-2)
	家庭	9 (±0)
	保体	69 (-6)
	福祉	
	英語	24 (±0)
農業	8 (-4)	
工業	10 (±0)	
商業	15 (-1)	
水産	2 (±0)	
高校計	318 (-50)	

特別 支援	小学部	36 (-6)
	中学部	42 (±0)
	高等部	
特別支援学校計	78 (-6)	
養護教諭	91 (-7)	
栄養教諭	12 (-3)	

() 内は前年度比



県立学校人事課長へ手交

○採用見込みは、高等学校教諭、特別支援教諭あわせて70人程度
(昨年比-10人)

小中学校230人程度、養護教諭30人程度、栄養教諭若干名

○志願者数は5年連続減

○高校の倫理、政経、地学、福祉、工業科学、特別支援学校の地学、福祉、工業化学は募集なし。

○障がい配慮した選考は、志願者1人(+1)

○スポーツ特別選考の志願者は、高等学校9人(±0)

○7月18日 第1次選考

○8月20日 第1次選考結果通知

○8月下旬～9月下旬 第2次選考

○10月21日 第2次選考結果通知